

2025年12月8日

報道関係者各位

一般社団法人リノベーション協議会

能登半島地震から2年

「創造的復興」をテーマにシンポジウムと被災地視察ツアーを開催

～持続可能で災害に強いまちづくりを考える2日間／2026年1月15日（木）・16日（金）～

一般社団法人リノベーション協議会（東京都中央区・理事長：山本卓也）は、能登半島地震から2年を迎える2026年1月15日（木）・16日（金）の2日間、能登の創造的復興を考えるシンポジウムおよび現地視察ツアーを開催いたします。今回の取り組みは、全国の建築・不動産・まちづくり関係者とともに、「地域資源を活かした持続可能な復興のあり方」と「災害に強いまちづくり」を考えることを目的としたものです。ぜひ、この機会にご参加ください。



「能登の創造的復興を考える」シンポジウム

開催日時：2026年1月15日 17:00～

会場：石川県政記念しいのき迎賓館 ガーデンルーム

参加申し込みフォーム：<https://forms.gle/avRPssD9om8RjgDi6>

■イベント開催主旨

震災から2年が経過した現在、公費による解体は補助金の対象となる一方で、被災した建物の保存・修復には補助がなく、地域への負担が大きくなっているのが現状です。このまま解体が進んでしまつてよいのか、能登にとって守るべき資源とは何なのか。災害大国と言われる日本において、能登で起きている問題は、全国各地で将来起こり得る課題でもあります。

今回のシンポジウムでは、能登地域で長年まちづくり・リノベーションに取り組み、震災後は現地を最前線で支えてきた小津誠一氏（株式会社ENN）が、「能登地震で起きたことと能登の現在」を語ります。加えて、行政として復興を統括する浅野大介氏（石川県副知事）、全国的な街の再編集・リノベーションの実績を持つ大島芳彦氏（株式会社ブルースタジオ）、宮城県石巻を拠点に空き家再生・地域コミュニティ構築に長年取り組み、東日本大震災後の復興にも深く関わられている渡邊享子氏（株式会社巻組）も登壇。行政・民間・地域の実践者が一堂に会することで、文化や景観を守りつつ、災害に強いまちをどう再構築できるか、創造的復興の可能性を議論します。

本イベントを通じて、古い街並みや建物の保存と復興の両立の可能性、そして創造的復興について、参加者の皆さまと共に考える機会としたいと考えています。

■イベント開催概要

【1日目】「能登の創造的復興を考える」シンポジウム

日時：2026年1月15日（木）17:00～20:00（16:30開場）

会場：しいのき迎賓館ガーデンルーム

（石川県金沢市広坂2丁目1番1号 <https://www.shiinoki-geihinkan.jp/>）

対象：全国で建築・不動産・リノベーション・まちづくりに携わる事業者

メディア、行政、金融（金融支援機構）の方々

定員：90名

参加費：無料

後援：石川県、独立行政法人住宅金融支援機構、公益社団法人日本建築家協会北陸支部石川地域会、一般社団法人能登復興建築人会議、ほか（予定）

内容（予定）：

第一部 | リノベーションまちづくりトークイベント（17:00～18:30）

1. 講演「能登地震で起きたことと能登の現在（仮）」

登壇：小津誠一氏（株式会社ENN 代表取締役）

2. パネルディスカッション「能登における創造的復興を考える（仮）」

モデレーター：矢部智仁氏（合同会社RRP 代表社員）

パネリスト：浅野大介氏（石川県副知事）
大島芳彦氏（株式会社ブルースタジオ 専務取締役）
小津誠一氏（株式会社ENN 代表取締役）
渡邊享子氏（株式会社巻組 代表取締役）

第二部 | 交流会（18:30～20:00）

【2日目】能登半島視察ツアー

日時：2026年1月16日（金）8:00～18:00

視察行程（予定）：

8:00 金沢市内（金沢東急ホテル）集合・出発（貸切バスで移動）
9:00 和倉温泉、七尾市 視察
10:30 輪島市中心市街地 視察
12:00 のと里山空港NOTOMORI ランチ
13:30 能登町宇出津港 視察
14:30 珠洲市中心市街地～大谷地区～真浦現代集落～輪島市町野 視察
16:30 金沢へ
18:30頃 金沢駅到着・解散

対象：当協議会会員、その他本テーマにご関心のある事業者・専門家など

※2026年1月15日開催のシンポジウム参加者限定となります。

定員：24名（予定）

参加費：リノベーション協議会会員 3,000円（昼食代別途）

一般・メディア 6,000円（昼食代別途）

参加申込は、以下フォームよりお願い致します。

<https://forms.gle/avRPssD9om8RjgDi6>

一般社団法人リノベーション協議会について

消費者が安心して既存住宅を選べる市場をつくり、既存住宅の流通を活性化させることを目的に、2009年7月に発足したリノベーション業界団体です。現在、業界・業種の枠を超えた744社（正会員552社、賛助会員173社、特別会員5名・9法人・5自治体）が参画し、優良なリノベーションの統一規格「適合リノベーション住宅」を定め、建物タイプ別に品質基準を設定、普及浸透を推進しています。区分所有マンション専有部に関する品質基準を満たす「R1住宅（アールワンジュウタク）」、

区分所有マンション共用部も含む品質基準「R 3 住宅（アールスリージュウタク）」、戸建住宅の品質基準「R 5 住宅（アールファイブジュウタク）」が運用されており、適合リノベーション住宅発行件数は、累計81,223件（2025年3月31日現在）。2022年6月からは、R1住宅エコ基準も運用開始し、地球環境にもやさしいリノベーションの普及を目指します。

また、2022年より中古住宅流通とリノベーションの提供に必要な知識を総合的に学ぶことができる資格制度「リノベーションコーディネーター資格制度」を創設。リノベーション業界に関わる人材の知識や技術の底上げや、他業界からの転職、新卒採用等、採用機会の拡大や人材定着につなげ、中古住宅の流通とリノベーションの活性化に寄与してまいります。

名称：一般社団法人リノベーション協議会

理事長：山本 卓也

設立：平成21年5月20日

住所：東京都中央区京橋1-1-5 セントラルビル13F

公式HP：<https://www.renovation.or.jp/>

